



酪農の仕事についてメモを取りながら真剣に説明を聞く高校生たち

### 葛高魅力化促進授業 町の基幹産業を学ぶ

10月9日、県立葛巻高校(木村基校長、生徒131人)の魅力化促進授業の一環として「葛巻町内施設見学ツアー」が行われ、1年生47人が酪農家や風力発電施設、ワイン工場などをバスで巡り、町の基幹産業を学びました。

酪農について学ぶため訪れた(株)Peace Valley Dalryでは、八幡勝幸代表(53歳、星野)が自らの経験を交えながら酪農家の現状を紹介。10年後を見据えながら今できることを頑張りたいと激励しました。生徒らは牛舎見学や質問を通じて酪農の奥深さに理解を深めた様子でした。



肩にたすきをかけて一斉にスタートする選手たち

### 駅伝継走一斉にスタート ゴール目指すも雨で断念

令和2年度町小中学校駅伝継走大会と第26回町民駅伝継走大会は9月25日、20チーム(中学生16、一般・高校4)が参加して、葛巻小グラウンドを発着点とする周回コースで行われました。

強い風と雨が予想されたことから、小学生の駅伝継走大会は中止。会場の葛巻小の児童はオープン参加で走りました。また、出発地点を2カ所に設置し、繰り上げて3部門が一斉にスタート。選手たちは、緊張した面持ちながらも勢いよく飛び出しましたが、その後、大雨警報の発表により競技はやむなく中止されました。

### 熱戦の町総体中期競技 江刈Aと北部同点1位

第36回町民総合体育大会中期競技は10月11日、総合運動公園で開催され、ペタンクとグラウンドゴルフの2種目の競技が行われました。

感染症対策のため、会場に入場するときには、検温と手指を消毒。競技中は手袋とマスクを着用して行われました。選手らは仲間同士で互いを鼓舞し合いながら、チームとして団結し、競技に挑んでいました。

競技の結果、総合順位は江刈Aと北部が同点で1位、続いて江刈B、中部B、西部、中部Aとなりました。※前期は中止のため、中期の結果による順位



グラウンドゴルフでホールポストを狙う選手とボールの行方を見守る選手ら

### 夕暮れ時の歩行注意 交通安全呼び掛ける

9月29日、JRバス葛巻駅構内で交通安全の啓発活動が行われました。

地域交通安全活動推進委員の木戸場弘祐さん(64歳、江刈)が葛巻駐在所の警察官らとバスの利用者にチラシとクリップ付きの小型ライトを手渡し、日の入りが早くなるこれからの時期に向け、歩行する際の注意点などを説明。木戸場さんは「夕暮れが早くなり、運転手から見えにくくなります。道路の横断や歩行するときには、反射材を使用してください」と交通事故防止を呼び掛けていました。



夕暮れ時に歩行する際の注意点などについて説明を受けるバス利用者



ヤマメの稚魚をそっと放流する児童

### 葛小ヤマメの稚魚放流 元気に育てと願い込め

10月15日、稚魚放流体験が行われ、葛巻小学校(佐藤隆司校長、児童108人)の1、2年生34人がヤマメの稚魚放流を行いました。

児童らは、学校裏の馬淵川で、バケツに入れた稚魚を放流しながら「元気でね」と声を掛けたり、川岸にとどまらないように、そっと川の流れの中に誘導しながら、稚魚の様子をじっくり観察していました。

門場雛乃さん(2年)は「いっぱい大きく育ててほしいです」と目を細め、元気に泳ぐ稚魚の行方を追っていました。



夢中で栗を拾い集める園児たち

### 園児が栗拾い体験 実りの秋を楽しむ

10月7日、江刈保育園(中崎廣子園長嘱託員、園児16人)の園児らが野中地区の深澤進さん宅で栗拾いを体験しました。

園児らは、地面に落ちているたくさんの栗を夢中になって、どんどん拾い集めていました。また、栗でいっぱいになった袋を広げて、友達同士で「見て見て!」と得意げに見せ合って喜んでいました。

栗拾いの後には、深澤さんのお宅で採れたブドウや栗の渋皮煮をごちそうになり、秋の味覚も楽しんでいました。